



No.60

The University of Tokyo Forests News

# 科学の森ニュース

December 10, 2012

発行：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

## 第5回アジア大学演習林シンポジウムを主催

### 国際交流委員会

東大演習林では、9月26～30日にアジア大学演習林コンソーシアムの第5回シンポジウムを開催しました。東大から教員18名、学生4名、技術職員5名の他、韓国から7名、台湾から7名、インドネシア・マレーシア・タイから各1名の参加者がありました。また、公開シンポジウムを共催した山梨県環境研究所から2名の参加をいただきました。開催にあたり、援助をいただいた大学院農学生命科学研究科、サントリーホールディングスにお礼申し上げます。

9月27日と28日には、「森林と人間」をテーマに山中寮内藤セミナーハウスでシンポジウムが開催され、演習林活動・森林管理・気象・水文・生物季節・生物多様性・生物害に関する口頭発表とポスター発表があり、活発な討論が交わされました。29日には、山梨県環境科学研究所にて共催の公開シンポジウムを行いました。27日には富士癒しの森研究所、29日は環境省生物多様性センター、30日には秩父演習林を見学しました。

次回は、ソウル大学が韓国で主催します。

また、2014年にアメリカ・ソルトレイクシティで開催されるIUFRO世界大会において、小集会を開くことが決まりました。



第5回アジア大学演習林シンポジウムに参加されたみなさん

## 北海道フットパス研修

### 富士癒しの森研究所

「フットパス」先進地の北海道で研修を実施しました。各種事例の視察と現地関係者とのディスカッションをしてきました。富士癒しの森研究所の研究課題の一つであるフットパスの設定方法を学ぶために、2012年10月9～12日北海道にて、ルート設定や住民参加の点で参考となりそうな4事例および関連施設を視察しました。参加したのは、富士癒しの森研究所職員5名、演習林所属学生1名、今回の研修に関して研究助成を頂いた山口育英奨学会の職員1名の合計7名です。現地ではNPOを主宰する小川巖氏、草苺健氏にコーディネートをして頂き、フットパスを実際に歩きながら様々なお話を聞く事が出来ました。また、野外活動で重要となるトイレ問題に関連してバイオトイレメーカー正和電工の見学も行いました。

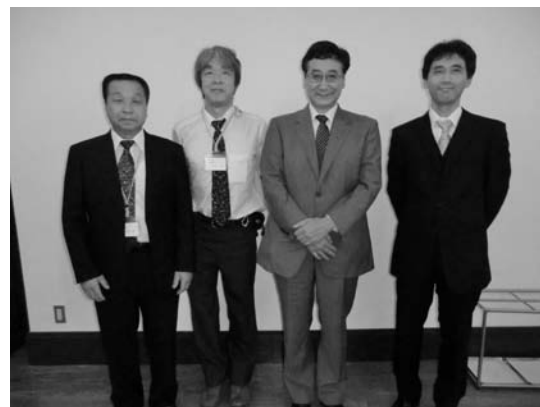


地元の精神科医、瀧澤さんに森林療法の実践のお話を伺いました。

## 第14回全国演習林協議会 「森林管理技術賞」を受賞

### 企画部

9月20日、全国演習林協議会が京都大学で開催され、平成24年度の森林管理技術賞の授与式が行われました。当演習林から、飯沼利雄さん（北海道演習林）が特別功労賞、犬飼浩さん（企画部）が技術貢献賞、澤田晴雄さん（生態水文学研究所）が学術貢献賞をそれぞれ受賞されました。飯沼さんは北海道演習林での林道開設および維持管理への長年にわたる貢献が、犬飼さんはウダイカンバ高付加価値化のための個体選木技術の開発が、そして澤田さんは秩父山地イヌブナブナ林の生態系研究に関する研究業績が認められての受賞です。



左から飯沼さん、犬飼さん、鈴木林長、澤田さん

## 科学の森の動植物紹介

### カエンタケ

#### ニクザキン目 ニクザキン科

#### *Podostroma cornu-damae* (Pat.)

2012年9月に、犬山研究林、赤津研究林、穴の宮試験地で、カエンタケが相次いで発見されました。発見者は、それぞれの犬山研究林利用者協議会会員、シデコブシの会会員、職員です。これらのカエンタケは、いずれもブナ科樹木萎凋病（通称、ナラ枯れ）により枯れたコナラの周辺で発見されています。カエンタケは毒キノコで、食べると腎不全、肝不全、脳障害等を起こすだけでなく、触れるだけで皮膚が炎症を起こすといわれていますので、注意が必要です。

### 生態水文学研究所



2012年9月21日

犬山研究林利用者協議会会員撮影

生態水文学研究所の赤津研究林長期生態系プロットは、地上から 1.3メートルの高さの幹まわりが 15cm 以上のすべての樹木を対象として、樹種と幹まわりを 1998 年から測定している面積 2.6ヘクタールの調査地です。本プロット内の 1.0ヘクタールは、2004年より環境省のモニタリングサイト 1000プロジェクトの森林・草原調査分野のコアサイトに指定され、毎年、対象木の幹まわりの測定、種子・葉・枝などの落下物の測定、地表徘徊性昆虫の採取調査、鳥類の調査などを行っています。

今回紹介する種子落下量調査では、リタートラップ（写真1）に落下した種子を樹種ごとに仕分けして、数、重量、品質を記録しています。最近7年間の年平均種子生産数は1平方メートル当たり 1,726個でした。また、年平均種子生産数が1平方メートル当たり 10個以上であった樹種はヒノキ、コナラなど9種で、どの樹種も種子生産量の多い年と少ない年とがありました。たとえば、コハウチワカエデ（図1）、アオハダ、ソヨゴ、アカマツは種子生産量の多い年が1年おきに見られました。



写真1. リタートラップ

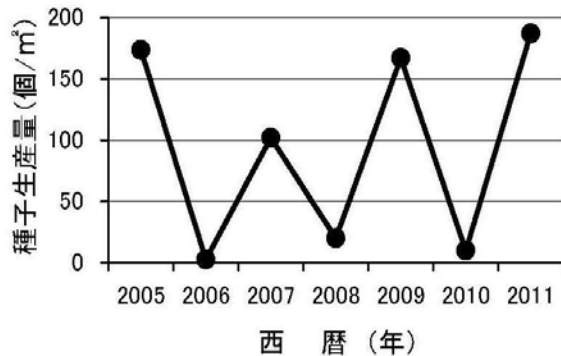


図1. コハウチワカエデの種子生産量の経年変化

### 演習林のイベントダイジェスト

詳細はホームページをご覧ください。各演習林にお問い合わせください。

| 9月  | 12月   |
|---|---|
| 13~17日 体験ゼミ「企画系さらに伊豆に学ぶ」☆(樹芸)             | 1日 東京大学生態水文学研究所創立90周年記念シンポジウム(生水研)                            |
| 24~28日 総合科目「伊豆に学ぶプラス」☆(樹芸)                | 1日 秋の休日公開(田無)   |
| 25~28日 体験ゼミ「森に学ぶ(伊豆)」☆(樹芸)                | 1~2日 秋の一般公開(千葉)   |
| 27~29日 第5回アジア大学演習林コンソーシアム◆(富士)            | 1~2日 総合科目「森を測る」☆(富士)  |
| 30日~10月1日 第5回アジア大学演習林コンソーシアムエクスカージョン◆(秩父) | 2日 第3回森林水文学を考える若手研究者の会◆(生水研)                                  |
| 10月                                       | 7~8日 総合科目「森のエネルギーを使いこなす」☆(秩父)                                 |
| 13日 特別ガイド「きのこに親しむ」○(富士)                   | 9日 影森祭(秩父)  |
| 13~14日 神社山自然観察路 秋季一般公開(北海道)               | 11日 坂畑小「スクールミュージアム」◆(千葉)                                      |
| 17日 第3回温室特別公開日(樹芸)                        | 12日 第5回温室特別公開日(樹芸)  |
| 20日 第4回温室特別公開日(樹芸)                        | 13日 公開講座「フットパスde森づくり」(富士)                                     |
| 21日 秩父演習林見学会(育成資金寄付者対象)◆(秩父)              | 14日 利用者説明会◆(秩父)   |
| 27~28日 紅葉の自由見学日・ワサビ沢展示室特別開室(秩父)           | 15日 第6回温室特別公開日(樹芸)  |
| 31日 天津小学校「緑の教室」◆(千葉)                      | 15~16日 全学体験ゼミナール「癒しの森をつくる(冬)」☆(富士)                            |
| 11月                                       | 26~27日 体験活動推進プログラム「癒しの森の落ち葉焚き」☆(富士)                           |
| 1~2日 平成24年度技術職員等試験研究・研修会議◆(秩父)            | 2月  |
| 3日 鴨川市交流事業「野鳥の巣箱をかけよう」◆(千葉)               | 2日 特別ガイド「冬の散歩道」◆(富士)  |
| 4日 第21回「子ども樹木博士」認定会(田無)                   | 17~21日 総合科目「伊豆に学ぶプラス」☆(樹芸)                                    |
| 11日 東海銀杏会演習林見学会◆(生水研)                     | 18~21日 全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ・1」☆(富士)                                |
| 11日 鴨川市交流事業「東大キャンパスツアー」(千葉)               | 24~28日 総合科目「伊豆に学ぶプラス」☆(樹芸)                                    |
| 23~24日 秋の一般公開(千葉)                         | 25~28日 全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ・2」(富士)                                 |
|   | 27~3月1日 全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ」(北海道)                               |
|   | 3月  |
|   | 未定 技術職員研修「木質系資源の伝統的活用技術とその教育への応用」◆(凡例...無印:一般向け ☆:学生向け ◆:その他) |

## 名所・名物案内

### 「樹木園」

#### 秩父演習林

秩父演習林の樹木園は、国道 140 号沿いのアクセスの良い場所にあります。急傾斜地が多い秩父演習林の中では比較的傾斜が緩く、道幅も広い遊歩道が整備され、歩いて樹木観察ができます。標高は 750m～860m で、天然林の中に、秩父演習林内および周辺地域に生育する樹木種を始め、北海道・外国産の樹種も植栽し、1940 年に設置されました。ブナやケヤキ、ツガなどの



巨木も多く、中には「東京大学の森」育成資金の記念樹になっているものもあります。園内の約 70 種の樹木には QR コード対応の樹木ラベルが取りつけてあり、電波状況が良ければ詳しい解説や写真を携帯電話で見ることができます。2011 年 3 月には、園内の貴重な植生を守るため周囲にシカ防護柵を設置しました。新緑と紅葉の時期に行われる自由見学日には、樹木園と滝川森林軌道跡を含む周回コースを歩くことができます。ぜひ一度いらしてください。

### 60号を迎えた 科学の森ニュース

#### 「森林の魅力と大切さ」を発信しよう

演習林長 鈴木雅一

「科学の森ニュース」は、第 60 号となりました。創刊号は 20 世紀最後の年である 2000 年 12 月の発行でしたから、それからちょうど 12 年経過しています。東京大学演習林は 1894 年に千葉演習林が設立されて以来、あと 2 年で 120 年となるので、その歴史に比べると十分の一ほどの期間ということになりますが、演習林の近況を皆様に伝える役割を果たしてきました。

「演習林が取り組んでいる息づいた情報を発信したい」、「広く森林の大切さを発信したい」との思いから創刊され、その思いは変わらずに現在に至っています。東大演習林は、北海道から愛知県まで 7 つの地方演習林がありますが、そこにはそれぞれの地域の気候、地質と地形、歴史に対応した様々な森林が存在し、それを研究、教育に役立てています。森の姿、そこでの森と人との関わりは、各地の演習林毎に特徴があり、バラエティーに富んでいます。その多様な魅力を発信する一端を担う「科学の森ニュース」を目指します。

特に演習林に関心を持たれ、この冊子を目にされる方に、これからも演習林の今をお伝えして、皆さまとともに「森林の魅力と大切さ」の情報を拡げていきたいと思っています

### 科学の森ニュース (The University of Tokyo Forests News) 第 60 号 (No.60)

発行日 平成 24 年 12 月 10 日

発行人 鈴木雅一

編集人 後藤 晋

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林広報情報委員会

TEL 03-5841-5497 FAX 03-5841-5494

E-mail mori2010@uf.a.u-tokyo.ac.jp